

特定小電力トランシーバー

UBZ-LA7

取扱説明書

お買いあげいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
本社：東京都渋谷区道玄坂1-14-6 〒150

©PRINTED IN JAPAN B62-0389-00(MC)
95/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 94/12 11

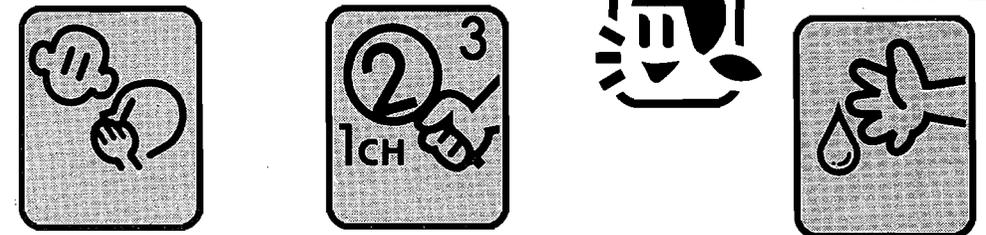
- 商品に関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
東京：電話(03)3477-5335(受付時間 AM9:30~PM5:30)
大阪：電話(06)357-5335(受付時間 AM9:45~PM6:00)
(土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。)
- アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、
または、最寄りのケンウッド・サービスセンター、営業所にご相談ください。
(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

UBZ-LA7 DEMITOSS には楽しい機能がいっぱい

- ペアチャンネル対応…34ページ
- タイマー機能…40ページ



- スクランブル通話 …28ページ
- チャンネルセレクト …30ページ
- 日常生活防水 JIS4級防沫型



目次

通話してみよう	4
いろいろな通話方法	6
ご使用前のご注意	8
■ まず準備	
アンテナを立てます	10
ベルトフックを取付けます	11
電池を入れます	12
表示について	15
各部の名前と働き	16
■ 操作	
通常の通話	18
グループ通話	24
スクランブル通話	28

■ 便利な機能	
空いているチャンネルをセレクトする	30
ペアで通話する	34
誤操作防止のためロックする	37
振動着信	38
タイマーを使う	40
ピープ音をON/OFFする	43
APO(節電機能)のはたらき	44

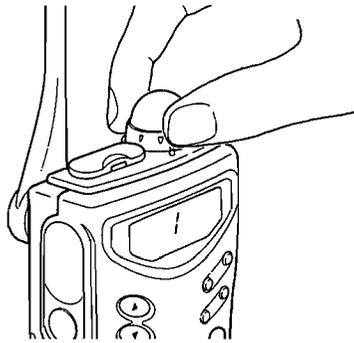
■ 用途にあわせたオプション	46
故障かなと思ったら	50
はじめてからやり直す リセット	
アフターサービス	54
定格	55

2台でさっさと 通話してみよう

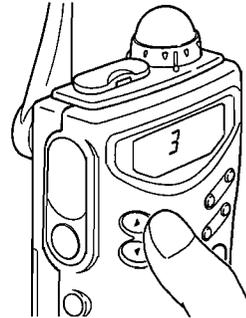
UBZ-LA7は免許不要で、だれもが簡単に使える
技術基準適合証明をうけた特定小電力トランシーバーです

電池を入れて・・・12ページ

電源スイッチ を入れ、音量も
あげておく



UP/DOWNボタン で
チャンネルを合わせる



もう受信しています

トークスイッチ を
押しながら **話す**

待っているだけで・・・ほら、
聞こえる **聞こえる!!**



こちらデミトス
聞こえますか？

送信すると
ケンウッド・トライアングルが
赤く点灯します



ワー!!
ホントに
聞こえる!

受信すると
ケンウッド・トライアングルが
緑に点灯します

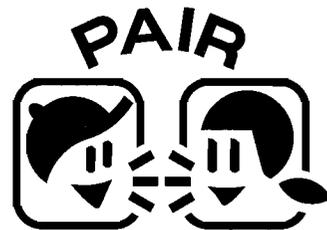
UBZ-LA7

DEMITOSS はいろいろな通話方法があります

通常の通話...18ページ

チャンネルを合わすだけで通話できます

1～9チャンネルは一般用の特定小電力
トランシーバー (例 UBZ-7 UBZ-17
UBZ-L3 UBZ-L5) とも通話できます。



10～18チャンネルはペア通信が
できる特定小電力トランシーバーと
だけ通話できます。

他のグループの通話が聞こえてわずらわしいときは...

グループ通話...24ページ

チャンネルとグループ・ナン
バーが同じ相手の声だけが聞
こえます

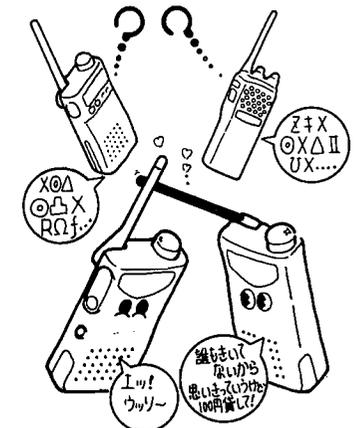


こんなときに
グループ

ただし、グループ通話にして
いない人や、グループ機能の
ない人にも聞こえます。他の
人に聞かれないときは...

スクランブル通話...28ページ

秘話になり
スクランブル通話にしてない
人には会話は聞き取れません

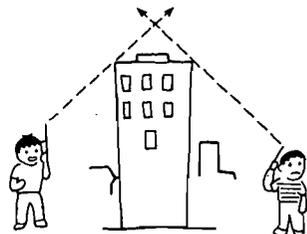


ご使用前のご注意

電波法を守ってください

- 本機の裏面についている技術基準適合証明ラベルをはがすと使用できません。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いて、これを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

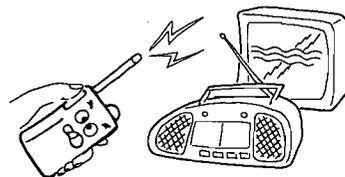
- 電波の届く距離は地形や環境によって大きく異なりますが目安は
市街地 100~200m
郊外 1~2km です。
- コンクリートの壁や、自動車などの金属物体の周囲では、通信距離が短くなります。



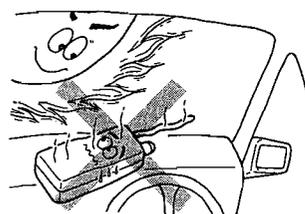
- 無線機の使用が禁止されているところがあります。
航空機内、空港敷地内、新幹線車両内などでは使用しないでください。

電波妨害にご注意ください

- テレビ、ラジオの近くでトランシーバーを使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。
これらの機器からは離れてお使いください。



- 閉めきった車内等高温になる所に放置しないでください。



- 本機は日常生活防水です。
多少の水滴がかかったり、濡れた手で触ってもだいじょうぶです。
(JIS保護等級4 防まつ形相当)



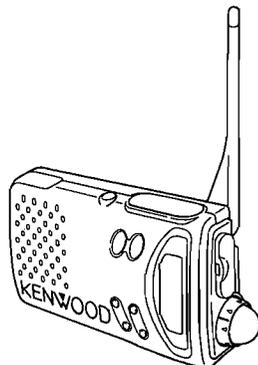
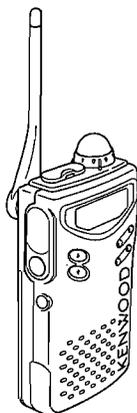
水につけると故障の原因になりますのでご注意ください。

- スピーカー/マイクのゴムキャップを外しているときは、スピーカージャックやマイクジャックが挿入されていても、防水にはなりません。
- 激しい振動、雨、粉塵がある環境には耐えられないことがあります。

アンテナを立てます

アンテナを立てるときは根元をもって回します。

アンテナは2か所で止まります。



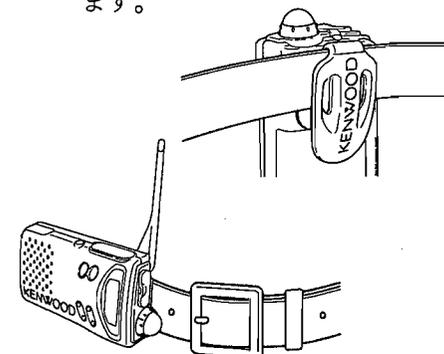
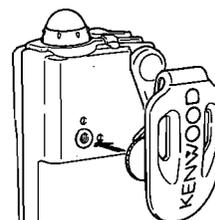
付属品

ベルトフック	1	保証書	1
取扱説明書	1			

ベルトフックを取付けます。

ベルトフックはタテ・ヨコどちら向きでもベルトに止められます。

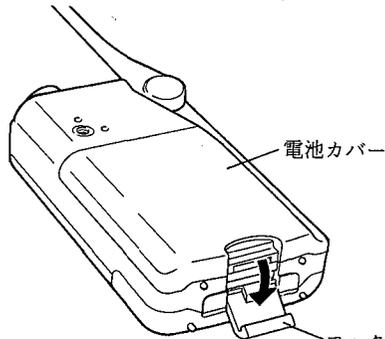
- ① 本体背面の凹部にベルトフックの裏のねじを合わせてから締めます。
- ② ベルトにベルトフックを通します。



タテ・ヨコの止め位置を変えるときは、ねじをゆるめて、ベルトフックを90度回してください。

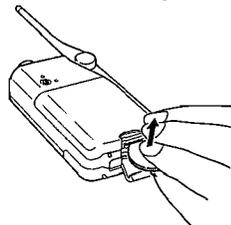
ベルトフックを取付けます

① 電池カバーを開け、

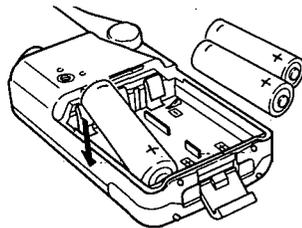


ロックをはずすとカバーが開きます。

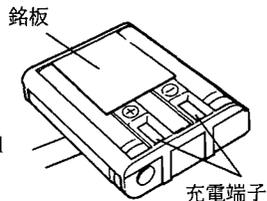
本機は防水構造のため、電池カバーやロックがきつくなっております。外しにくいときは、コイン等をご使用ください。



② 電池を**＋側から**入れて、

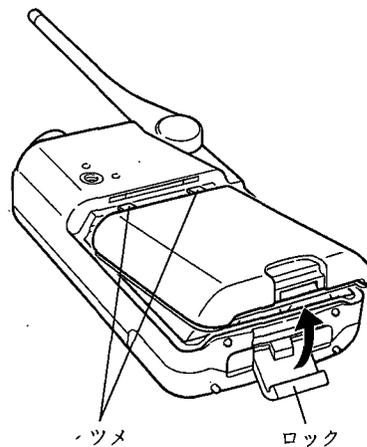


＋の印どおりに、新しい単3型乾電池を3本入れます。



オプションのNiCdバッテリーパックUPB-1は銘板の極性表示とあわせてください。

③ 電池カバーを閉めます。



はじめに爪をあわせて、カバーを閉め、ロックをかけます。

電池の交換

警告音がピーピーピーと4回鳴って、BATT表示が点滅したら電源をOFFにして、できるだけ早く電池を交換してください。



電池が消耗していると電源スイッチを入れるたびに警告音になります。

アルカリ電池(単3型3本: DC 4.5V)、または別売の専用ニッカド電池パック(UPB-1 DC 3.6V)のご使用をおすすめします(46ページ)。

使用可能時間の目安

電池の種類	使用可能時間
アルカリ電池	約60時間
ニッカド電池パック UPB-1 ※	約24時間

測定条件: 送信6秒、受信6秒、待ち受け48秒の時

※ ニッカド電池パックは、充電する前にターミナル部分をかならずきれいに拭いてください。

電池に関する注意

乾電池は使い方を誤ると、破裂や破損、液もれの恐れがあります。次のことは必ずお守りください。

1. 使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。
2. 同じ種類の乾電池を使用してください。
3. 乾電池は充電できません。
4. 火の中へ投げ込まないでください。
5. ショート(短絡)、分解、加熱しないでください。
6. 長期間使用しない時は乾電池を電池ケースから取り出してください。

単3型ニッカド電池

単3型ニッカド電池は使わないでください。単3型ニッカド電池は、端子や電池被覆がショートして発熱し、電池ケースや本体が壊れることがあります。

通常はチャンネルを表示し、タイマー画面ではセットした時間(時間単位)を表示します(40ページ)。

送信中に残り時間が少なくなると点滅しながらカウントダウンをはじめます。グループ通話のときはグループ・ナンバーを表示します(24ページ)。タイマー画面では、セットした時間(分単位)を表示します(40ページ)。

APO(オート・パワー・オフ)がONになっているとき点灯します(44ページ)。

タイマーをセットしたとき点灯します(40ページ)。

振動着信をセットしたとき点灯します(38ページ)。

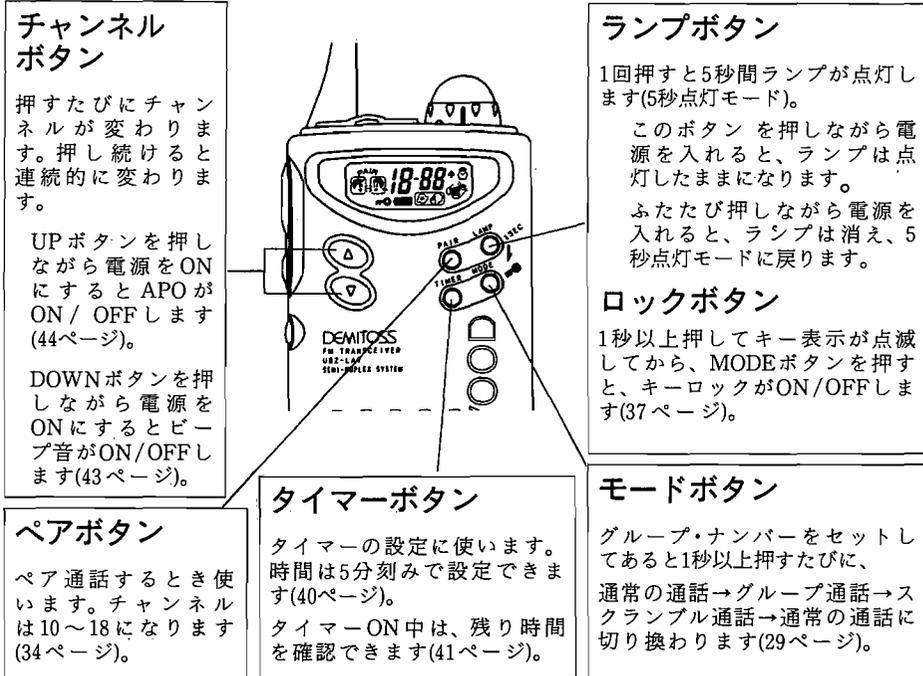
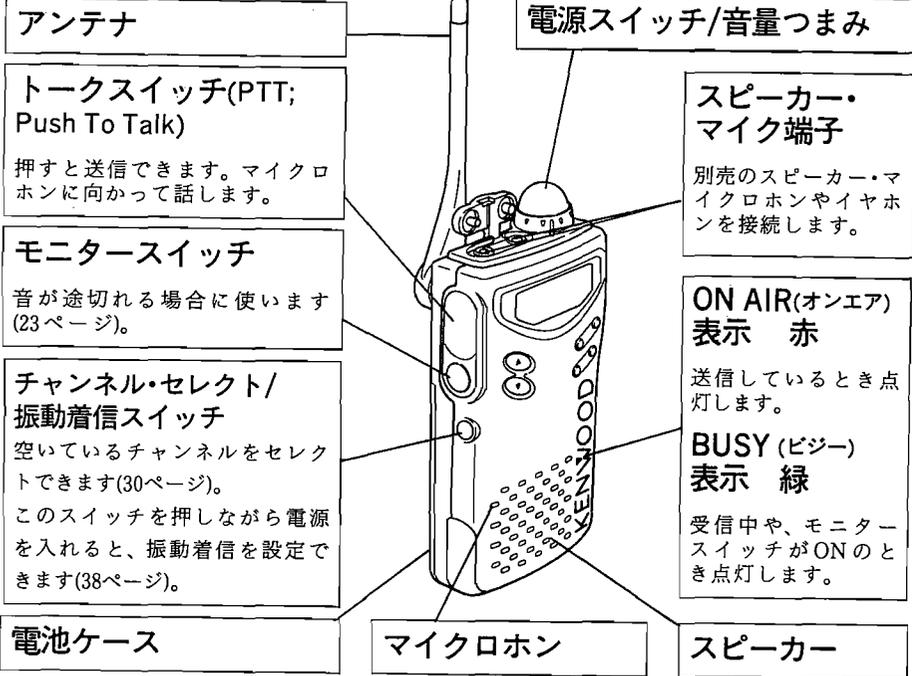


ペア通話するとき点灯します(34ページ)。

ロックされているとき点灯します(37ページ)。

電池交換が必要になると点滅します(13ページ)。

スクランブル通話のとき点灯します(28ページ)。



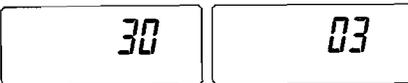
お使いになる状況に合わせて、30秒(送信)モードにするか3分(通話=送受信)モードにするかを選びます。

30秒モードでは、
30秒以上の連続送信はできません。
10秒前になると数字表示が点滅しながらカウントダウンをはじめます。5秒前に“ピッ”と警告音が鳴り、30秒になると送信は自動的にストップします。その後2秒間はトーク・スイッチを押しても送信はできません。

3分モードでは、
3分以上の連続通話はできません。
30秒前になると数字表示が点滅しながらカウントダウンをはじめます。10秒前に“ピッ”と警告音が鳴り、3分になると自動的に通信をストップします。その後2秒間はトーク・スイッチを押しても送信はできません。

はじめは30秒モードです。
トーク・スイッチとMODEボタンを押しながら電源を入れると、3分モードと30秒モードが切り換わります。

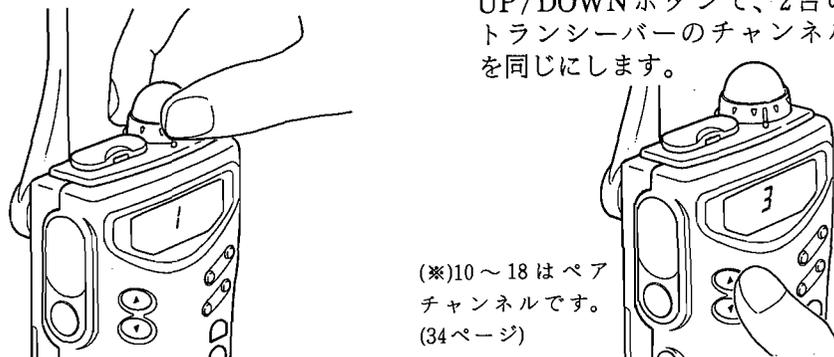
30秒モードのときは30と表示されます。
3分モードのときは03と表示されます。



トランシーバーは一度に大勢の相手に送信できますが、電話機とちがって、送信中は受信していません。また受信中は送信できません。

実際にお使いになるまえに、2台のトランシーバーを使って通話テストを行ってください。

- ① 電源スイッチ(音量つまみと共用)を入れます。
- ② チャンネルは1～18(*)まであります。チャンネルUP/DOWNボタンで、2台のトランシーバーのチャンネルを同じにします。

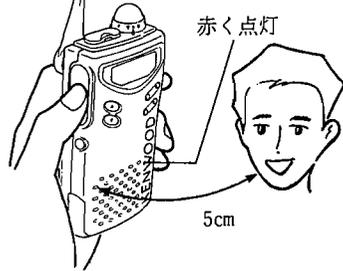


(*)10～18はペアチャンネルです。(34ページ)



③送信側

トーク・スイッチを押すと、ON AIR表示が赤く点灯します。マイクロホンに向かってお話しください。



赤く点灯

5cm

ご注意

- マイクロホンと口もとの間隔は5cm位が適当です。声が大きすぎたり、マイクロホンに近すぎると音声がひずみ、遠すぎると聞きとりにくくなります。
- BUSY表示が灯いているときは、トーク・スイッチを押しても“プー”と警告音が鳴るだけで、送信はできません。

コールトーン

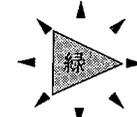
トーク・スイッチを押しながらUP(高音)/DOWN(低音)ボタンを押すと、電話の呼び出し音のようなプルルルと鳴るコールトーンが相手に送信されます。

「オーイ××くん、聞こえる」の代わりに

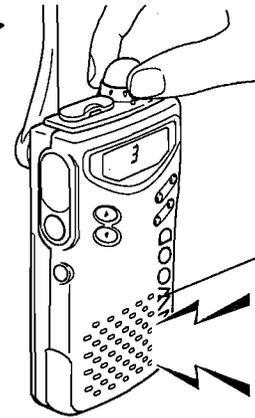
プルルル、プルルル、

と、電話感覚の呼び出しができます。

④受信側



電波を受信すると(音声信号がなくても)BUSY表示が緑色に点灯します。音量つまみを調節してください。スピーカーから相手の声が聞こえてきます。

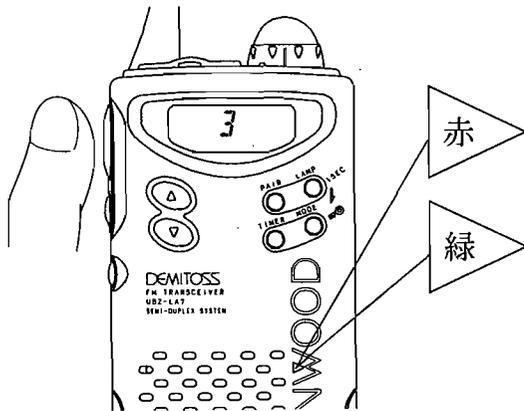


緑に点灯

BUSY表示は点灯しても…相手がPTTスイッチを押したまま黙っている場合もBUSY表示は点灯します。この場合は音量つまみを回しても声は聞こえません。

チャンネルが合えば…チャンネルが合えば他のグループの通話も聞こえます。

- ⑤ 送信側がトーク・スイッチを離すとON AIR表示は消え、受信側のトランシーバーもBUSY表示が消えます。



赤

緑

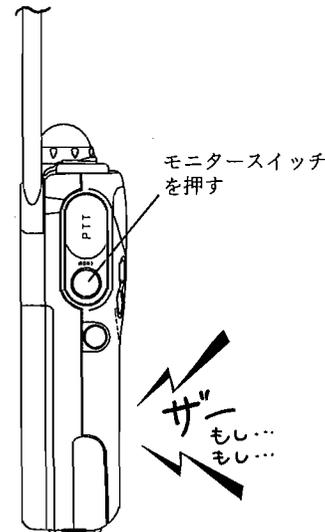
どちらも消えているときは受信待ち受け状態です

受信待ち受け状態

この状態を受信待ち受け状態と言い、表示中のチャンネルで送信されると、ただちに受信します。

受信音が途切れる場合は

信号が弱くて相手の声が途切れる場合は、モニタースイッチを押し続けてみてください。雑音に混じって音声聞こえることがあります。



モニタースイッチを押す

モニタースイッチを押している間は、信号がなくてもBUSY表示は点灯します。

グループ通話は解除され、そのチャンネルで受信したすべての音声聞こえます。(グループ通話 24ページ)

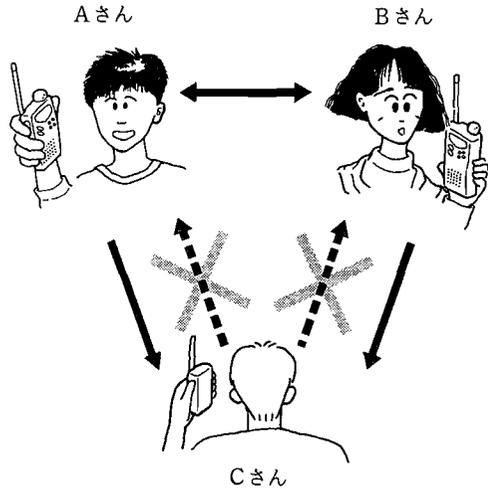
常時受信

モニタースイッチを押しながら電源を入れると、モニタースイッチを押し続けた状態になります。いったん電源を切るとこの機能は解除されます。

グループ通話はグループ・ナンバーを合わせた仲間の声だけを受信したいとき使います。

通常の通話ではチャンネルが同じ局の通話はすべて聞こえます。

大きな催事会場などで、いくつものグループが同じチャンネルを使っているときは、グループ通話にすると他のグループの通話は聞こえなくなります。



AさんとBさんは
グループ・ナンバーが合っている
のでお互いに聞こえます。

Cさんは
グループ通話を使っていないので、
AさんとBさんには聞こえません
ただし、同じチャンネルだから
AさんとBさんの通話はCさんには
聞こえます。聞かれて困るときは
スクランブル通話にします
(28ページ)。

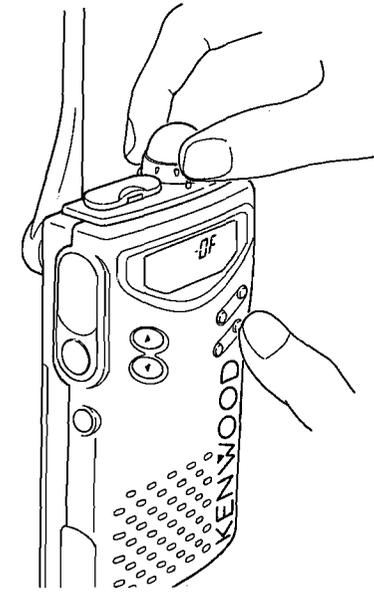
グループ通話にはグループ・ナンバーが必要です。1~38のグループ・ナンバーの中から1つを選んでプリセットします。

- ① いったん電源を切り、モード・ボタンを押しながら電源を入れます。
チャンネル表示は消え、グループ・ナンバー表示にOF(*)が点滅します。
10秒以内に次の操作をしてください。

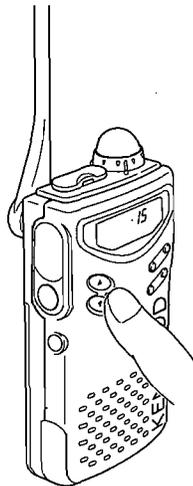
(*)

OF

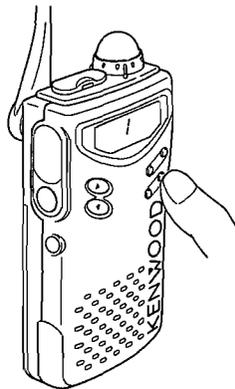
(=OFF)表示を選ぶとグループ・ナンバーは解除されます。



- ② チャンネルUP/DOWNボタンを押して、希望のグループ・ナンバーを表示します。(例 15)

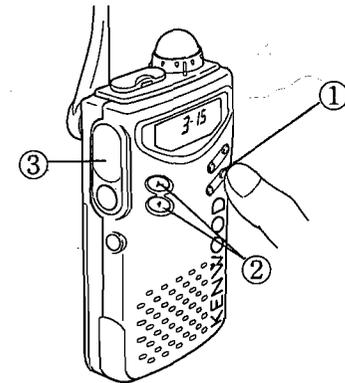


- ③ モードボタンを押します。表示中のグループ・ナンバーがプリセットされて、もとのチャンネル表示に戻ります。



グループ・ナンバーは1回プリセットすると全チャンネルに共通で使えます。

- ① モード・ボタンを1秒以上押しします。
プリセットされたグループ・ナンバーが表示されグループ通話になります。
- ② チャンネル・ボタンで、チャンネルを選びます。
チャンネルを決めたら、誤操作でチャンネルが変わらないように、ロックすることをおすすめします(37ページ)。
- ③ トークスイッチを押すと送信します。

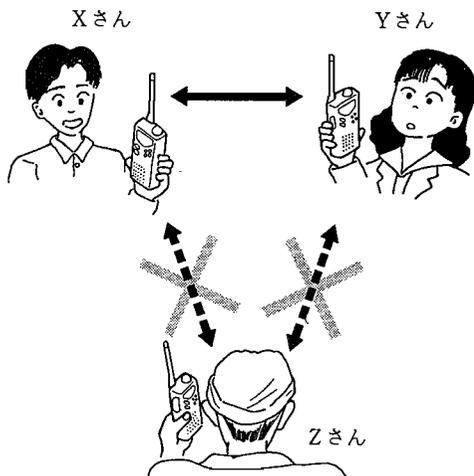


グループ通話中も、同じチャンネルの電波はすべて受信しています。他のグループがそのチャンネルを使っていると、音声は聞こえませんが受信状態になるのでBUSY表示が緑に点灯し、送信はできません。

送信や受信については基本操作と同じです(18ページ)。

スクランブル通話は、仲間以外の方がグループ通話を受信しても通話内容を聞き取れなくする機能です。

グループ通話にするとグループ内の通話だけが聞こえます。そのためグループ外の人には聞かれていないように感じますが、実際にはグループ通話していない人にはそのチャンネルの全ての通話が聞こえています。



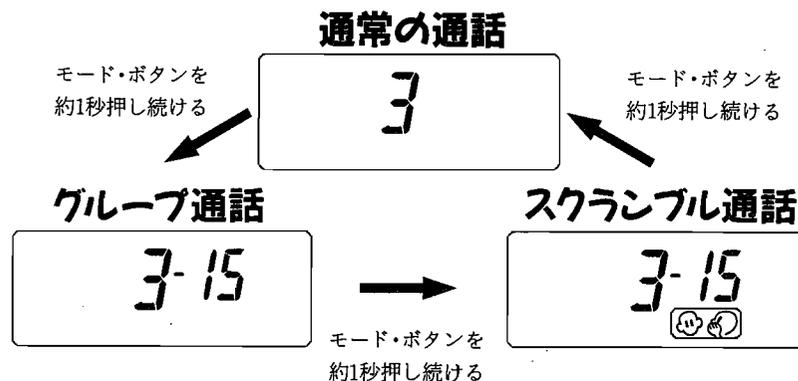
XさんとYさんは
スクランブル同士なのでお互いに聞こえます。

Zさんは
スクランブル通話で受信していないので、音声は聞こえますが、内容はわかりません。

第三者でもグループ・ナンバーとスクランブル通話が一致した場合は傍受できます。高度な機密を要する通話に使うことはお薦めできません。

スクランブルはグループ通話といっしょに使うので、あらかじめグループ・ナンバーをプリセットしておきます(26ページ)。

モード・ボタンを1秒以上押すとグループ通話になり、もう一度1秒以上押すとスクランブル通話になります。



送信や受信については基本操作と同じです(18ページ)。

空いているチャンネルを自動的に捜して通話する機能です。仲間を捜す目印にグループナンバーを使います。全員、同じグループナンバーをプリセットして、あらかじめグループ通話またはスクランブル通話にしておいてください。

グループナンバーをプリセットする(25ページ)

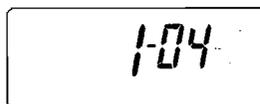
- ① モードボタンを押しながら電源を入れる。
- ② UP/DOWNボタンでグループナンバーを選ぶ。
- ③ モードボタンを押す。

グループ通話にする(27ページ)

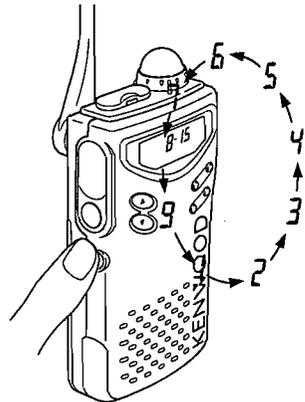
- ④ モードボタンを1秒以上押す。
- ⑤ UP/DOWNボタンでチャンネルを選ぶ。

スクランブル通話にする(28ページ)

- ⑥ モードボタンを更に1秒以上押す。
- ⑦ UP/DOWNボタンでチャンネルを選ぶ。



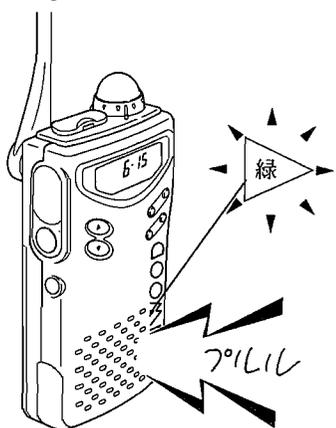
- ① それぞれのトランシーバーのチャンネルセレクトスイッチを1秒以上押します。チャンネルが変わり続けます。チャンネルとグループ・ナンバーの間のハイフンは消えています。



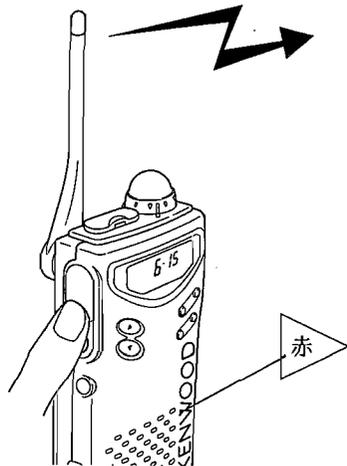
- ② 呼び出す側は、トークスイッチを2~3秒押し続けます。その後、通常よりゆっくり呼びかけて、相手がそのチャンネルで応答してくれるのを待ちます。この間、チャンネルの動きは止まります。



- ③ 呼び出される側は、BUSYランプが点灯し、「ブルル」と鳴って、チャンネルの動きが停止するので、呼び出されていることが分かります。



- ④ 呼び出されたら、BUSYランプ(緑)が消えるのを待って、トークスイッチを押して応答します。応答は10秒以内に行ってください。10秒以上送受信がないと、チャンネルセレクトを再開します。

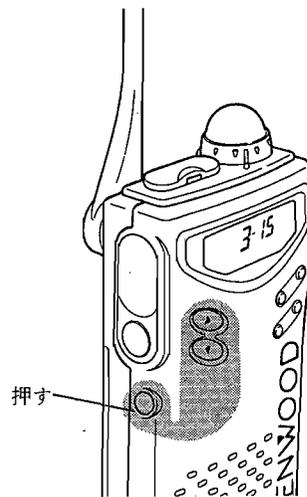


チャンネルセレクトをやめる

ご注意

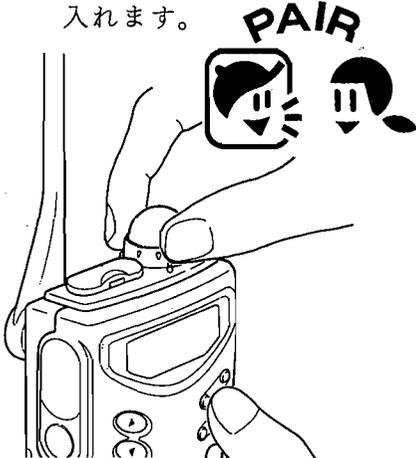
チャンネルセレクトをやめるには、チャンネルセレクトスイッチかUP/DOWNボタンを押します。

- * チャンネルセレクト中に電源を切っても、次に電源を入れたときはチャンネルセレクトを続けます。
- * チャンネルセレクトをしているときは、APO機能は働きません(44ページ)。
- * 振動着信機能と同時に、この機能を使うことはできません(38ページ)。

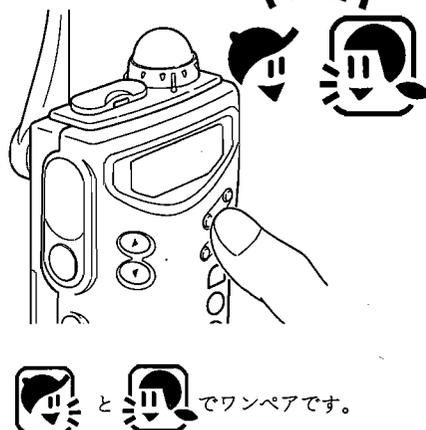


10～18チャンネルは、ペアを組んだ相手とだけ通話するチャンネルです。はじめに2台をペアに設定します。

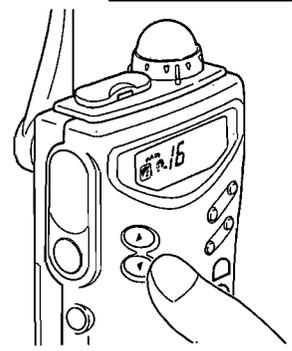
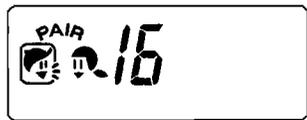
- ① 2台とも、それぞれのペアボタンを押しながら電源を入れます。



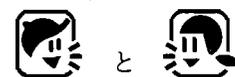
- ② 次に一方だけペアボタンを1秒以上押します。



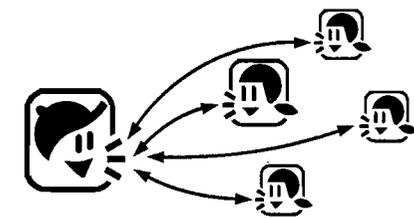
- ① UPまたはDOWNボタンでチャンネルを選びます。チャンネル番号は10～18になります。



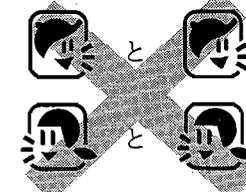
- ② トークスイッチを押して、話します。通話できる組合せ。



相手が複数台でも通話できる。

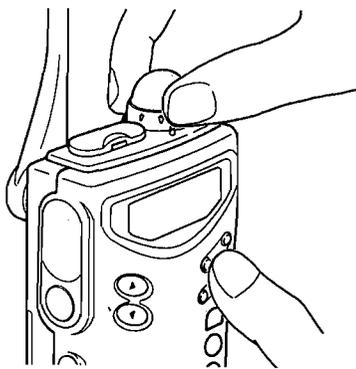


通話できない組合せ。



ペア通話をやめる

ペア通話をやめるときは、いったんそれぞれの電源を切って、ペアボタンを押しながらもう一度電源を入れます。



送受信周波数(MHz)

CH	送信周波数	受信周波数
10	440.2625	421.8125
11	440.2750	421.8250
12	440.2875	421.8375
13	440.3000	421.8500
14	440.3125	421.8625
15	440.3250	421.8750
16	440.3375	421.8875
17	440.3500	421.9000
18	440.3625	421.9125

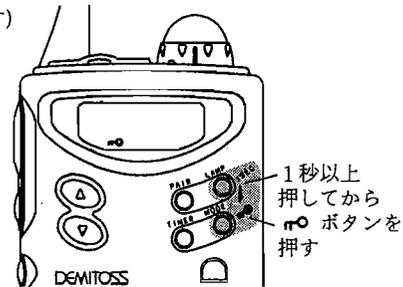
送受信周波数
送信周波数と受信周波数が上記と逆になります。

UBZ-LA7以外のトランシーバーでも、周波数構成が同じであれば、本機とペア通話できます。

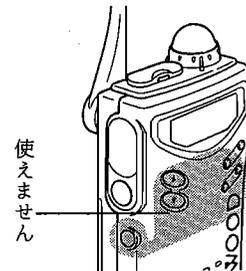
通話中はロックしておく、間違ってもボタンを押してもモードやチャンネルは変わらないので安心です。

モードやチャンネルを合わせたら、

- ① ランプボタンを1秒以上押し、カギマークが点滅している間(2秒)にMODEボタンを押します。(ランプは点灯しますが5秒後に消えます)



- ② LOCK表示が点灯し、電源スイッチ/音量つまみ トークスイッチ モニタースイッチ ランプボタン ロック解除操作 以外は効かなくなります。



解除にはもう一度①を繰り返します。

音を出したくないとき、逆に騒がしくて音が聞こえないとき、声や呼び出し音でなく、振動によって呼び出されたことを知る機能です(振動着信)。

- ① チャンネルセレクトスイッチを押しながら、電源を入れます。ナマズマークが点灯します。



ナマズマークが点灯しているときは送信できません。

- ② 呼び出されると、トランシーバーが10秒間振動します。ナマズマークは点滅が変わります。



- ③ トークスイッチを押すと、振動は止まり、ナマズマークが消えて、通常の交信ができます。



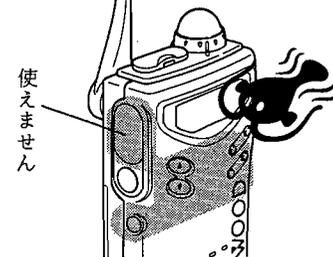
途中で解除するには

いったん電源を切って、チャンネルセレクトスイッチを押しながら、電源を入れ直します。

ご注意

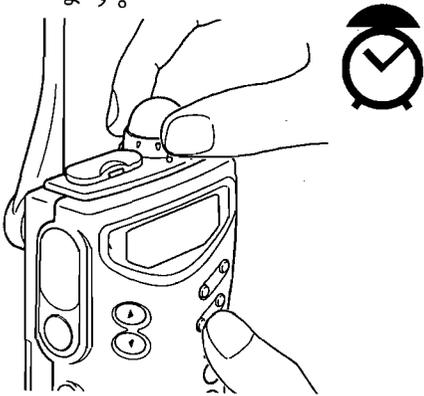
振動着信をしているときは、下記のつまみ類しか使えません。

- 電源スイッチ/音量つまみ
モニタースイッチ、
ランプボタン、



5分刻みで最長10時間までのタイマーを設定できます。
設定時刻になると時計マークが点滅し、10秒間振動するか、またはメロディを10回繰り返してお知らせします。

- ① タイマーボタンを押しながら、電源を入れます。0-00が点滅し、時計マークが点灯します。
- ② UPまたはDOWNボタンで、5分刻みの時間を設定します。

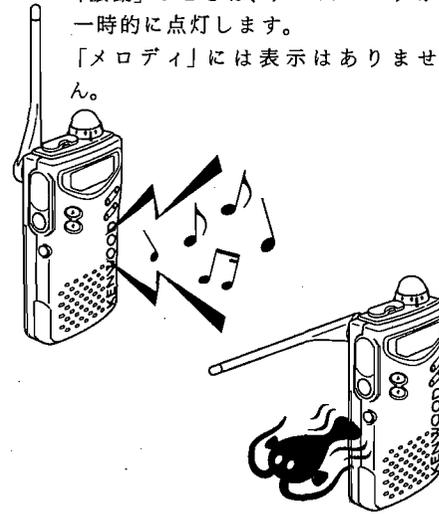


UPボタン; 00-05→00-10…
DOWNボタン; 10-00→09-55…

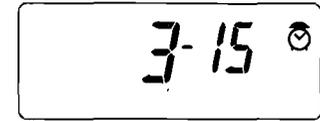
- ③ チャンネルセレクトスイッチを押すたびに、「振動」と「メロディ」が交互に切り換わります。

「振動」のときは、ナマズマークが一時的に点灯します。

「メロディ」には表示はありません。



- ④ タイマーボタンを押します。振動かメロディを1回流して、タイマーがセットされます。



指定の時間になると、通話中でも振動やメロディでお知らせします。残り時間を知りたい時は、タイマーボタンを押します。

振動・メロディを止める

何か操作をすると振動・メロディは止まります。

タイマーを解除する

電源を切るとタイマーは解除されます。

タイマーだけに使う

タイマーしか使わない時は、トランシーバー機能を止めてお使いください。電池の消耗が少なくなります。

タイマーボタンを1秒以上押します。残り時間が表示されます。

トランシーバーに戻すには、再びタイマーボタンを1秒以上押します。

注意 BATTマークが点滅しているときは、この操作はできません。

メロディを選んだときは

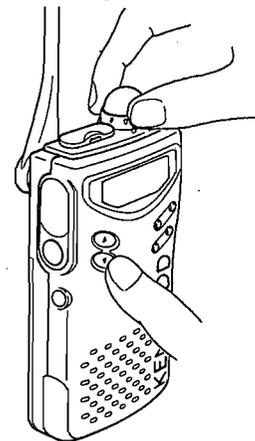
41ページの手順③でメロディにしたときは、続けてモニタースイッチを押すと、メロディの種類が選べます。希望のメロディ番号に設定してください。

- 01 峠の我が家
- 02 大きな栗の木の下で
- 03 静かな湖畔
- 04 山の音楽家
- 05 線路は続くよどこまでも
- 06 プルプル音
- 07 ピーピー音

メロディが鳴り終わるまでは、相手の声や、ピープ音は聞こえません。

ボタン操作をしたときは確認のためピープ音が鳴ります。この音は止めることができます。

- ① DOWNボタンを押しながら電源を入れます。



解除にはもう一度DOWNボタンを押しながら電源を入れます。

ただし、以下の3つの警告音は止められません

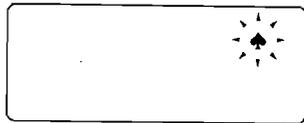
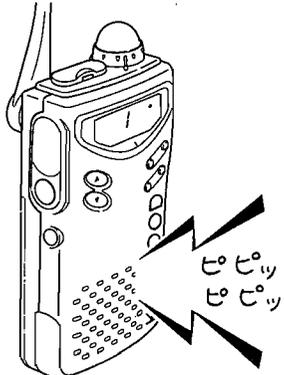
- 1. 制限時間前と制限時間を経過したときの警告音
- 2. 受信中にトークスイッチを押したときの警告音
- 3. 電池がなくなりかけているときの警告音



APO(オート・パワー・オフ)は電源を切り忘れたとき働く節電機能です。2時間以上なにも信号を受信せず、送信などの操作もしなかったときは、電源の切り忘れと見なして自動的に電源OFFの状態にします。

電源が切れる前には、“ピピッ”という警告音が4回鳴ります。

警告音から1分後にAPO状態になります。APO状態ではAPO以外の表示はすべて消え、APO表示(スPEED・マーク)だけが点滅し続けます。



この状態では、すべての機能は停止し、受信も送信もできません。多少の電流は流れています。

このとき何かの操作をするとAPOは中止になり、電源は切れません。

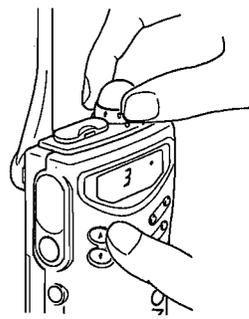
工場出荷時はOFFです。空きチャンネルセレクト、タイマー、または振動呼び出し機能が働いている時は、APOは働きません。

APO状態の解除

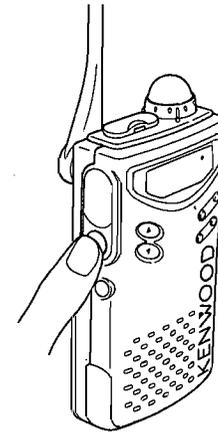
APO状態になったとき、これを解除するにはモニタースイッチを押すか、電源を入れ直します。

APOをON/OFFするには

チャンネルUPボタンを押しながら電源を入れます。APOをONにすると、チャンネル表示の他に、スPEED・マークが点灯します。

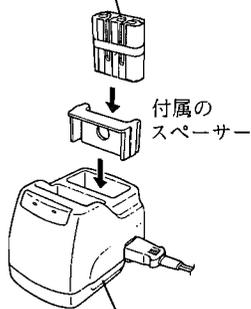


もう一度チャンネルUPボタンを押しながら電源を入れるとAPOはOFFになります。



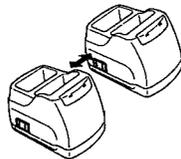
バッテリーパック
3.6V 700mAh
UPB-1

バッテリーパック



ツインチャージャー

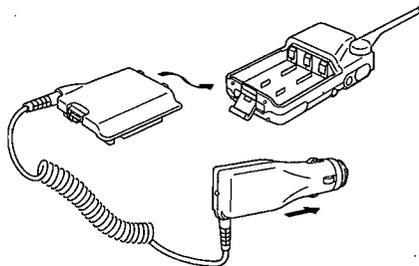
ご注意
バッテリーパックをトランシーバーにつけたままでは充電できません。



ツインチャージャーを連結する。

UBC-2 ツイン・チャージャー
充電時間の目安:約8時間

カー電源アダプタ
UCA-3



車のシガレットライターソケットへ

VOX・PTT付き

ヘッドセット HMC-3

話すと自動的に送信になり、黙っているときは受信になるタイプです。



ブチホン型
イヤホン
HS-9



イヤホン付
クリップマイクロホン
EMC-1



注意 スピーカージャックやマイクジャックを挿入すると、防水にはなりません。

キャリング
ケース
USC-3

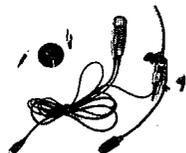


SP、MIC端子に接続してトランシーバーをリモートコントロールします。

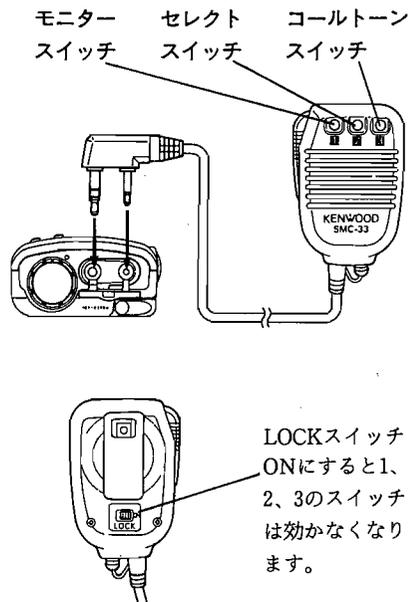
3キーリモコン対応
ボリュームコントロール付
スピーカーマイクロホン
SMC-34



3キーリモコン対応
VOX/PTT/TOT切換式
ヘッドセット
HMC-4



リモートコントロール
スピーカー
マイクロホン
SMC-33



LOCKスイッチONにすると、2、3のスイッチは効かなくなります。

工場出荷時はロックはonです。

注意 スピーカージャックやマイクジャックを挿入すると防水にはなりません。

モニタースイッチ
本体のモニタースイッチと同じ動作です。



セレクトスイッチ
チャンネルセレクトする時の、本体のチャンネルセレクトスイッチと同じ動作です。

コールトーン
コールトーン・スイッチを押すと、電話の呼び出し音のようなプルルルと鳴るコールトーンが相手に送信されます。

オーイ、
××くん
聞こえる

の代わりに
プルルル
プルルル

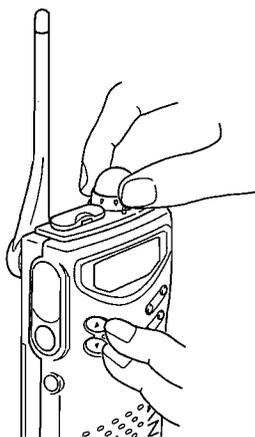
と、電話感覚の呼び出しができます。

修理を依頼されるまえに52、53ページの項目を点検してください。それでも回復しない場合や動作がおかしい場合、ボタンを押しても反応しないときは、リセットをしてみてください。

ご注意

リセットすると、設定してある内容は全て消去され、工場出荷時の初期状態になります。

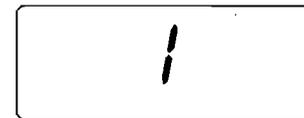
- ① いったん電源を切ります。
- ② チャンネルUPボタンとチャンネルDOWNボタンを一緒に押したまま電源を入れます。



- ③ 表示が全部点灯していることを確認します。



- ④ 2つのボタンをはなします。表示はチャンネル1だけになり初期状態に戻ります。



次のような症状は故障ではありませんので修理に出す前にお確かめください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れかたが違う。	+を正しく入れてください。
受信できない。VOLつまみを回しても音がでない。	a. トークスイッチが押されて送信中になっている。 b. 振動着信が設定されている。	a. トークスイッチをはなしてください。 b. 振動着信を解除してください(39ページ参照)。
相手と通話できない。	a. チャンネルが違っている。 b. 相手との距離が離れすぎている。 c. 相手と同じマークのペア通話になっている。 d. タイマー機能の残り時間表示画面になっている。 e. 振動着信が設定されている。	a. 相手とチャンネルを合わせてください。 b. 8ページの電波の届く距離を目安に通話してください。 c. ペアボタンを1秒以上押して、マークを変えてください(34ページ参照)。 d. タイマーボタンを1秒以上押して、通常の画面に戻してください。 e. 振動着信を解除してください(39ページ参照)。
どのボタンを押しても表示が変化しない。	a. キーロックになっている。 b. タイマーの残り時間表示画面になっている。	a. ロックを解除してください(37ページ参照)。 b. タイマーボタンを1秒以上押して、通常の画面に戻してください。

ランプが消えない。	ランプ常時ONモードになっている。	いったん電源を切り、ランプ/ロックボタンを押しながら電源を入れてください(17ページ参照)。
電池がすぐなくなる。	ランプ、振動着信、タイマーをよく使う。	必要な時だけにかぎってお使いください。
聞きとれない音声が入ったり、何も聞こえないのに、BUSYランプが点灯する。	別のグループ・ナンバーを使っているグループがある。 スクランブル通話しているグループがある。	そのチャンネルが空かないときはチャンネルを変更してください。 チャンネルセレクトで空いているチャンネルを捜してください。
チャンネルセレクトを止められない。 振動着信を解除できない。	キーロックになっている。	ロックを解除してください(37ページ参照)。
音量を大きくすると「プー」という音がする。 表示がすぐ消える。	電池の残りが少ない。	新しい電池に交換してください。

アフターサービス

保証書

保証書は必ず所定事項(ご購入店名、ご購入日)の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。

正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合は、保証書の規定に従って修理いたします。

修理

お手数ですが製品に保証書を添えて、ご購入の販売店または当社サービスセンター、営業所にご相談ください。

保証期間経過後の修理についてはご購入の販売店または当社サービスセンター、営業所にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有料で修理いたします。

定格

送受信周波数	422.200~422.300MHz 421.8125~421.9125MHz 440.2625~440.3625MHz 12.5kHzステップ 18CH
電波型式	F3E
周波数安定度	±4ppm(-10°C~+50°C)
消費電流	送信時 70mA以下 受信定格出力時 120mA以下 受信待ち受け時 50mA以下 セーブ時(平均) 約10mA
性能保証温度範囲	-10°C ~ +50°C
電源電圧	定格電圧4.5V
送信出力	10mW
低周波出力	90mW以上 (定格電圧、8Ω負荷 10%歪時)
受信感度	-7dBμ以下 (12dB SINAD)
寸法 mm	高さ(96.5±2) × 幅(54±1) × 奥行き(26±1)
重量	約157g (単三電池3本、ベルトクリップを含む)